

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81100 消防本部運営費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約 6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。 ・防災ヘリコプターの飛騨地域常駐を実現させます。
		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	常備消防運営事業	
担当課	消防本部 消防総務課	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	74,000 千円	
	内線 2119	目	1 常備消防費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	事業の実手法(手段)	・消防本部の運営、関係機関との連携・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・通信指令システムの維持管理 ・県の防災ヘリコプターの飛騨地域常駐のための関係機関との打ち合わせ、県への要望
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 通信指令装置の維持管理 防災ヘリの県への継続要望 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	119番通報受信件数	件	目標値				
				実績値	6,336	6,141		
				達成率(%)				
	算出根拠等		実績					
	活動指標	災害出場件数	件	目標値				
				実績値	3,502	3,518		
				達成率(%)				
	算出根拠等		実績					
	算出根拠等							
	算出根拠等							
	算出根拠等							
算出根拠等								
算出根拠等								
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・防災ヘリについては、必要性等継続的な県への働きかけが課題。施設の維持管理については、あらゆる面での節約が必要。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・防災ヘリについては、引き続き県への要望を続ける。維持管理費については節約に努める。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・通信指令回線・病院間等の連絡体制は必要であり、災害時の消防無線を含め、通信機器の保守を継続する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・防災ヘリの飛騨地域常駐の実現に向けた県への要望を継続的に行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 31,957	45,388	47,553	54,949
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 334	477	503	580
	受益者	高山市民・白川村民 (B)	95,607	95,102	94,616

5 予算編成(Action2)

事業内容	消防本部運営に関する企画・統制に係る事務 ・人事、予算、庶務等、消防組織に関する事務 ・全国消防長会等、消防本部に関する各種会議の対応 ・通信指令システムを維持するための改修及び保守、各機器突発故障発生時修繕、緊急連絡等回線使用料	要求のポイント	・通信指令機器のバッテリー老朽化による更新 ・通信指令システムのハードディスクの更新 ・衛星携帯電話の更新(新規) ・通信指令機器、消防無線の保守の継続	事業実施の課題	・通信指令システムは導入から約7年経過しており、365日24時間稼働していることなどから、部品の突発的故障が近年増加している。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		47,553	54,949	7,396	45,346	45,346	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金				224	224		
	その他	9,017	7,618	△ 1,399	8,450	8,450		
一般財源		38,536	47,331	8,795	36,672	36,672		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81110	消防署運営費	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。 ・防災ヘリコプターの飛騨地域常駐を実現させます。		
担当課	消防本部 消防総務課		内線	2119		款	8 消防費	分野	9 安全			実施計画事業	常備消防運営事業
			項	1 消防費		基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	74,000 千円				
			目	1 常備消防費		施策	1 消防体制の充実						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・地域の防災拠点である消防施設の適正な維持管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防庁舎(本署1,分署3,出張所4)や機械器具の維持管理(うち、白川出張所は白川村から消防事務を受託している。)
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・消防庁舎(本署、分署3、支所4)や機械器具の維持管理							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	斤用燃料費(灯油使用料)	L	目標値	63,600	63,600	63,600	63,600
				実績値	56,154	50,439		
	算出根拠等			達成率(%)	88	79		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・施設の老朽化に伴う維持修繕費等の増大で経費がかさむため、一層の経費削減に取り組む。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・消防施設の維持管理について適正に行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・高山署・3分署・4出張署の維持管理費用の節約するとともに、維持改善に努める。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 26,547	25,869	27,443	32,286
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 278	272	290	341
	受益者	高山市民・白川村民 (B)	95,607	95,102	94,616

5 予算編成(Action2)

事業内容	消防署(分署・出張所含む)の運営 ・署所の維持管理費 ・署所の斤用関係事務費に関すること	要求のポイント	・各署所の斤用燃料費及び施設・器具の修繕料の増加	事業実施の課題	・経年劣化による消防施設、器具の故障や不具合の増加
------	--	---------	--------------------------	---------	---------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		27,443	32,286	4,843	28,193	28,193	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	2,354	2,690	336	2,304	2,304		
一般財源		25,089	29,596	4,507	25,889	25,889		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81115	予防事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。
	款			8 消防費	分野		9 安全	実施計画事業		火災予防事業		
担当課	予防課	内線	2118	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	1,100 千円			
		目	1 常備消防費	施策	1 消防体制の充実							

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策の実施や啓発活動の実施などにより、防火意識の向上や防火知識の普及を図る。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 防火管理体制の充実のための立入検査、防火管理講習の実施(年3回) 危険物施設の自主保安体制の充実のための立入検査、危険物安全協会への協力 全国一斉火災予防運動の展開(年3回) 火災原因損害調査 住宅用火災警報器設置促進のための戸別訪問 火薬類取締法規制、保安管理体制充実のための立入検査、合同パトロール
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 年度立入検査計画の策定と立入検査に伴う違反是正 防火管理講習の企画・運営及び受講促進 春季・秋季火災予防運動及び文化財防火デーに伴う実施計画の策定 住宅用火災警報器設置推進実施計画に基づく広報、消防職員及び緊急雇用創出事業による戸別訪問の実施 危険物安全協会や飛騨火薬事故防止協議会の事業への参画 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	住宅用火災警報器設置促進(緊急雇用創出事業による戸別訪問)	件	目標値				
	算出根拠等		実績値	37,755	9,857		
活動指標	防火管理講習の実施	回	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等		実績値	3	3		
活動指標	防火対象物・危険物施設の立入検査	件	目標値	1,198	1,062	857	900
	算出根拠等		実績値	1,017	880		
成果指標	住宅用火災警報器設置普及率	%	目標値	100	100	90	95
	算出根拠等	届出書受付件数/世帯数	達成率(%)	59	87		
成果指標	防火管理講習修了証の交付人数	人	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等		実績値	112	123		
成果指標	火薬類(煙火)の消費許可	件	目標値				
	算出根拠等		実績値	27	27		
補足	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置促進の戸別訪問は、緊急雇用創出事業以外に消防職員、消防団員が行っている。 火災予防業務は全般的に法規制の許認可等により、市民が安全・安心して生活できるよう展開している。 						

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 火災原因損害調査について、ある程度の規模や原因等に応じ署所で処理できるよう、知識・技術の向上を図る必要がある。 予防技術専門員を養成し、各署所への配置を積極的に促進する必要がある。 県権限移譲事務について、新たに専門的な知識・技術の習得や研修が必要であり、全体的な事務量の増加を踏まえた物理的、具体的な検討が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置については、平成21年度から平成23年度における「住宅用火災警報器設置推進実行計画」を平成24年度から平成26年度における「住宅用火災警報器設置対策実行計画」とし、「設置推進」から「設置対策」に見直し、未設置世帯や普及率の低い地域、一人暮らしの高齢者を対象とした設置促進(戸別訪問)と住宅用火災警報器の維持管理の普及を対策とする。また、設置普及率の目標を平成24年度90%、平成25年度95%、平成26年度100%に修正する。 火災原因損害調査に関する調査員研修及び事例発表会を企画、実施する。 	
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置について、平成24年度調査する未設置理由の実態に応じた対策を中心に普及率の向上を図る。 予防技術専門員の組織的な養成について、現状分析とより具体的な取り組みを検討する。 県権限移譲事務について、人的確保を前提に研修会への職員派遣、飛騨地域振興局や近隣消防本部からの情報提供を受けるなど体制づくりを検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	994	937	1,040	1,172
	受益者1件当たり(円) (A/B)	10	10	11	12
受益者	高山市民・白川村民 (B)	95,607	95,102	94,616	94,759

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 防火管理体制の充実 危険物施設保安管理体制の充実 火災予防運動の展開 火災原因損害調査 住宅用火災警報器設置対策 火薬類取締法規制、保安管理体制の充実 予防技術専門員の養成 権限移譲事務の研究 	要求のポイント	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 署所との有機的な立入検査の実施と違反是正 住宅用火災警報器の設置促進困難者への対応 予防技術専門員の養成に向けたモチベーション向上やフォローアップ 予防技術(火災調査を含む)の伝承と向上
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,040	1,172	132	1,040	1,040	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	875	875		875	875		
	その他	165	297	132	165	165		
一般財源								

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81120	警防事業費	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市消防計画	市長公約	6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。
			款	8 消防費		分野	9 安全	実施計画事業	常備消防運営事業		
担当課			内線	1 消防費		基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	74,000 千円		
	2117		目	1 常備消防費		施策	1 消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資機材、救助資機材及び水防資機材が常に最適な状態を保つ。 緊急援助隊訓練、消防救助技術東海地区指導会及び警防技術発表会等の訓練に参加することにより、技術が向上する。 上記により火災、救助事案等で被災した場合、最小の被害で抑える。 	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 消防自動車等の安全運行に係る法定検査の実施とそれに伴う修繕。 消防本部内訓練実施、県単位訓練等各種訓練、研修会への参加。 高圧ガス保安法に基づく空気ボンベ容器の耐圧検査実施による使用期限の延長。 都市型ロープレスキュー資機材の整備による救助現場対応力の強化と署所間の連携活動の強化。 適正な資機材管理整備による隊員の公務災害防止、安全管理の徹底。
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気ボンベ容器耐圧再検査の実施(74本) 消防車両等21台の車検を実施。 岐阜県緊急消防援助隊訓練、緊急消防援助隊関東ブロック訓練、岐阜県警防技術発表会への参加。 都市型ロープレスキュー資機材を荘川出張所に配置。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	空気ボンベ容器の耐圧再検査	本	目標値	14	74	12	14
				実績値	14	74		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	消防車両等車検整備	台	目標値	20	21	17	22
				実績値	20	21		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	都市型ロープレスキュー資機材の整備	セット	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	平均鎮圧時間(指令から鎮圧まで)	分	目標値				
				実績値	46	28		
算出根拠等				火災出動した内放水活動があったものから算出				
成果指標	平均救出時間(現場到着から救出完了まで)	分	目標値					
			実績値	23	38			
			算出根拠等	救助出動した件数の内活動した件数から算出				
成果指標	消防職員の公務災害発生状況	件	目標値	0	0	0	0	
			実績値	1	0			
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両及び資機材は経年劣化に伴う自動車修繕及び器具修繕が目立つ。 都市型ロープレスキュー資機材は、残り国府分署、丹生川出張所及び清見出張所の3署所である。 平成22年の救助出動(活動あり)21件中、救出完了まで1時間以上を要した事案は1件。平成23年は22件中4件あった。 							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	自動車修繕料及び器具修繕料をさらに削減するために、経年劣化等を意識した維持管理を図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	今年度都市型ロープレスキュー資機材は丹生川出張所に配備予定。今後、当該出張所での技術習熟訓練及び本署と上宝分署を交えた連携訓練等が実施され、現場対応能力の向上を目指す。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 火災系訓練、救助系訓練の継続及び反復訓練を実施していく。 コスト削減を意識した車両使用、物品管理を実施していく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 13,558	14,865	14,390	18,888
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 142	156	152	199
	受益者	(B) 高山市民及び白川村民	95,607	95,102	94,616

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応力向上のための各種訓練、研修等 消防車両及び消防資機材の適正な維持管理 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救助用資機材の整備 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の車検整備等の他、突発的修繕の増加 空気呼吸器や携帯無線機等の器具修繕 	事業実施の課題	多種多様化する災害に対応するための資機材等のさらなる充実強化
------	--	---------	---	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		14,390	18,888	4,498	14,620	14,620	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	740	1,704	964	740	740		
一般財源		13,650	17,184	3,534	13,880	13,880		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81125	救急事業費	内線	2117	予算	会計 1 一般会計	総合計画	政策 2 「やさしさ」のあるまちづくりをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。
	款 8 消防費			分野 5 健康・保健・医療		実施計画事業		常備救急運営事業・救急救命士育成事業、救命技術普及啓発事業				
担当課	救急課					項 1 消防費		基本施策 2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		H25実施計画額	9,100 千円	
						目 1 常備消防費		施策 2 救急医療体制の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい応急手当の実施率の向上を図る。	概要	事業の実手法(手段)	救急救命士の有資格者の養成及び、救急救命士の病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習会の受講の場を提供する。
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		救急救命士の再教育(病院実習)、薬剤認定救命士2名の養成を実施。 公募による普通救命講習会の開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習の実施。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	救急救命士数	人	目標値	27	27	27	27
		実績値	24	23				
	算出根拠等		実働救急救命士の人数	達成率(%)	89	85		
	活動指標	救命講習会等の開催	回	目標値	300	300	300	300
		実績値	294	311				
	算出根拠等		救命講習会の開催回数	達成率(%)	98	104		
	成果指標	救急救命士が特定行為を行った症例(心肺停止症例)	件	目標値				
		実績値	84	86				
	算出根拠等		事後検証データベース	達成率(%)				
	成果指標	市民が救急現場で応急手当をした件数(心肺停止症例)	件	目標値				
		実績値	73	69				
算出根拠等		事後検証データベース	達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	福祉施設等に養成した応急手当普及員が、独自に救命講習会を実施できるよう推進する。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	病院実習は、岐阜県または飛騨医療圏の救急医療機関、消防機関等で協議決定したもので救命士を育成するために必要不可欠であり、コスト削減は困難である。 なお、医薬材料費等の経費は引き続き削減に努めている。 消防庁、岐阜県が実施する児童生徒に対する応急手当普及促進研究事業の対象となる応急手当講習を開催し、検証を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	救急救命士の病院実習と薬剤投与、気管挿管の各認定救命士の育成事業を今後も実施する。 救命講習会に今後も多くの市民が受講できるよう開催する。 児童生徒に対する応急手当普及促進研究事業の結果を踏まえ、応急手当講習を実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 8,182	7,185	9,367	11,829
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 86	76	99	125
	受益者	高山市民及び白川村民 (B)	95,607	95,102	94,616

5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題
救急救命士の再教育(病院実習)、薬剤・挿管認定救命士の養成 応急手当普及のための、救命講習会の開催 救急活動における救急資器材の購入、保守点検	救急救命士の病院実習、薬剤認定救命士2名、挿管認定救命士1名の養成 高山消防署ホームページへの救命講習カリキュラムコンテンツ(e-ラーニング:WEB講習)の追加 救命入門コース新設に伴う心肺蘇生訓練キットの購入 医療機器消耗品(除細動器バッテリー、ケーブルなど)の更新	挿管認定救命士の養成に必要な挿管実習は飛騨医療圏では行えないため、他医療圏(中濃厚生病院)の養成枠で実施していること。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,367	11,829	2,462	9,354	9,354	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	9,367	11,829	2,462	9,354	9,354		
一般財源								

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81200 消防団運営事業費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 6 ・市民の生活と生命・財産を守ります
		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	消防団運営事業	
担当課	消防本部 消防総務課	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	265,000 千円	
	内線 2119	目	2 消防団費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・火災をはじめ災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努め、市域における災害時の被害軽減等を目指すことにより、市民の安全安心を図る	概要	事業の実手法(手段)	・消防団員の任免。団員報酬、出勤手当、退職報償金等の支給。消防団行事等の企画、運営。消防団施設・資機材等の維持管理、被服の貸与。消防団員への各種表彰の具申等を行う。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・組織等検討委員会を開催し、組織、定数、災害活動団員について協議 ・消防団応援事業所制度を開始 ・国体、花火大会ほか、イベント等における警備を実施 ・住宅用火災警報器設置推進の広報、ローリング調査実施 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	災害・訓練への出勤	人	目標値	19,955	20,000	20,000	20,000
		実績値	41,604	35,398				
		算出根拠等	出勤延べ人数	達成率(%)	208	177		
	活動指標	訓練・研修会実施回数	回	目標値	90	90	90	90
		実績値	93	93				
		算出根拠等	実績	達成率(%)	103	103		
	活動指標	警備・予防活動等	回	目標値	30	30	30	30
		実績値	35	45				
		算出根拠等	実績	達成率(%)	117	150		
	成果指標	消防団員の確保	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100
		実績値	1,896	1,894				
		算出根拠等	年度末時点の団員数	達成率(%)	90	90		
	成果指標	消防団応援事業所	事業所	目標値		40	50	50
実績値			43					
算出根拠等		登録事業所数	達成率(%)		108			
補足			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・警備、予防活動等、災害以外の多様な活動を展開 ・消防団員の減少傾向が続く中、活性化を目的とした事業を展開し、また地域での積極的な勧誘により、災害活動団員を含め現状を維持している。 							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、団員の勤務先など市全体で消防団を応援することにより、消防団に入団しやすく、また活動しやすい社会を実現する必要がある。 ・消防団の活性化事業は重要かつ急務である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・組織等検討委員会を開催し、団の活性化につなげつつ、現状を見ながら、再編も検討する。 ・団員へのアンケートを含む実態・意識調査を行い、団員減少の原因、増加のため必要な方策を研究する。 ・消防団応援事業所を拡大する。 ・消防団員雇用事業所への支援などの検討を実施する。 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に実施した組織等検討委員会、実態調査の結果を反映した団員確保、活性化の施策を実行する。 ・消防団員雇用事業所への支援などを推進する。
	二次評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が消防団への加入を敬遠する要因を分析し、消防団とともにその要因を取り除くなどの取り組みをすすめる必要がある。 ・分団・班の再編を着実に推進する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 265,528	279,925	271,267	271,525
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,830	3,000	2,921	2,924
	受益者	高山市民 (B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の報酬、報奨金、賞賜金の支給 ・消防団員の公務災害、福祉共済などの福利厚生事業 ・消防団活動の運営に必要な被服整備などの各種事業 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が安全に活動できるための福利厚生事業 ・有効に活動できるための施設や装備、車両等の維持管理 ・出勤人員の増大に対する出勤報酬の拡充 ・全国女性消防団員活性化ぎふ大会の開催に伴う経費計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の確保や維持、施設や装備品等の充実を図り、消防団の活性化につなげる。 ・消防団員雇用事業所を応援するための方法を検討し、団員の確保や団活動の活性化につなげる。
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	271,267	271,525	258	241,255	241,255	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	51,324	32,748	△ 18,576	25,993	25,993		
一般財源	219,943	238,777	18,834	215,262	215,262		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81205 市消防協会補助金	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります
		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業		
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	千円	
		項	1 消防費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	消防団員	どうしたいのか(意図)	市消防協会運営及び活動資金として補助し、消防力の維持向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	火災予防等の啓発、災害現場活動に対する支援、会員の弔意救済、表彰及び福利厚生、各消防協会との連携など幅広い活動を行う
	対象者数	1,894 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	消防団員福祉共済の加入及び福利厚生について補助している。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	市消防協会補助	千円	目標値	5,400	5,400	6,300	5,211
				実績値	5,270	5,152		
	算出根拠等 決算額			達成率(%)	98	95		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	消防団員数に応じた金額を補助しているため、団員が減少している現状において補助額が目標に満たない。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・消防団員を適正な人数まで確保するよう努め、安全な活動のため適切な金額を補助しなければならない。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・東日本大震災を受け、平成24年度に限り福祉共済掛金が1人あたり年3,000円から4,000円へと増額されたため、補助金についても増額し対応している。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き市消防協会を支援し、消防力の維持向上を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,270	5,152	6,300	5,211
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,800	2,800	3,326	2,743
	受益者	(B) 1,882	1,840	1,894	1,900

5 予算編成(Action2)

事業内容	・消防団員福祉共済の加入及び福利厚生に対する助成	要求のポイント	・東日本大震災により、平成24年度は福祉共済掛金が1人あたり4,000円に増額されていたが、平成25年度以降は従来の1人あたり3,000円に戻る。	事業実施の課題	・消防団員を適正な人数確保し、安全に活動するため、継続して消防団員福祉共済に加入
------	--------------------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,300	5,211	△ 1,089	5,300	5,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
一般財源		6,300	5,211	△ 1,089	5,300	5,300		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81300	消防施設整備事業	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	款			8	消防費	分野		9	安全	実施計画事業		消防団車庫整備事業、消防施設維持修繕・改修事業			
担当課		消防本部 消防総務課	2119	項	1	消防費		基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	33,000 千円			
				目	3	消防施設費		施策	1	消防体制の充実					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全安心を図る。 ・現在使用する消防救急アナログ無線は平成28年5月31日に免許が失効するため、期限内に消防救急デジタル無線に移行する必要があり、信頼性の高いシステムを構築し、市民の安全を確保する。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・団車庫を計画的に整備する。 ・平成24年度にデジタル無線電波伝搬調査を実施し、設置を要する基地局の数と位置を決定する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づき消防団車庫2か所の整備(改修工事)を実施 ・国府支団広瀬班車庫を改築、従来2台車庫であったものを1台に規模縮小 ・上宝支団本郷班車庫を、上宝支所車庫の一角を改築し移転 ・その他、国府支団上広瀬班について下水切り替え工事を実施 						
		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	消防団車庫整備	箇所	目標値	1	2	2	2
				実績値	1	2		
	算出根拠等	実績		達成率(%)	100	100		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建築年度だけでなく、実地調査により破損、老朽化状況を加味した団車庫整備計画を再策定する。ただし組織再編、車両配置の適正化、老朽化の進行など、計画実施途上において、ある程度優先順位が変動する要素がある。 ・今年度以降の工事については一律に建て替えるのではなく、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど最低コストで効果的な整備を行う。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建築年度だけでなく、実地調査により破損、老朽化状況を加味した団車庫整備計画を再策定する。 ・今年度以降の工事については、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど最低コストで効果的な整備を行う。 ・組織再編により不要となった車庫4ヶ所を解体する。 ・デジタル無線伝搬調査の結果に基づき基地局の位置及び署所間の接続回線を決定する。 ・デジタル無線機器構成を決定し、国の財政処置も考慮した上で整備計画を完成させる。 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・2台車庫を1台車庫として改築するなど、車両配置の見直しと併せて適切な規模の工事を行う。 ・引き続き、既存施設の活用、リフォームなど立地条件、損傷状況に応じた最低コストで効率的な整備を継続する。 ・組織再編により不要となった車庫については解体または町内へ譲渡するなど、効率化を図る。 ・デジタル無線にかかる機器構成、運用方法を決定し、実施設計を行う。
	二次評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・消防無線のデジタル化については、コスト削減を考慮した計画を作成する必要がある。 ・消防団車庫については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 10,547	20,675	9,300	22,666
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 112	222	100	244
受益者	高山市民	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎、消防団車庫等消防施設の整備・改修 ・丹生川出張所仮眠室改修、一之宮支団一之宮班・久々野支団小坊班の修繕工事 ・消防救急デジタル無線整備のための事業 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・常備消防庁舎の改修やヘリポートの修繕工事などを実施する。 ・消防団車庫の整備は建替えに限らず、実地調査に基づき適切な修繕、リフォームを行うことにより車庫の長寿命化を図る。 ・平成28年5月を期限とする消防救急デジタル無線整備に向けた実施設計等を行う。 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎や設備等の老朽化・経年劣化に伴う改修・修繕の増加 ・消防団の組織再編を踏まえた団車両の適正配置と消防団車庫の整備 ・消防本部及び消防団が連携して有効に災害対応し得る無線通信システムの構築
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,300	22,666	13,366	12,000	12,000	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	750	670	△ 80	750	750		
一般財源		8,550	21,996	13,446	11,250	11,250		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81305	消防車両整備事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画・消防車両整備計画		市長公約	6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。
	款			8 消防費	分野		9 安全	実施計画事業		常備消防車両整備事業、消防団車両整備事業、消防-救急資器材整備事業			
担当課	消防総務課・救急課・警防課		内線	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	120,600 千円				
			2119	目	3 消防施設費	施策	1 消防体制の充実						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか(意図)	・火災を始めとする災害対応に万全を期すために、消防車両(署・団)を常に万全の形で配備しておく必要がある。 ・老朽化した消防車両を更新し、消防活動の安全性と災害時の対応能力を向上することで、市民の安全安心を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防団車両整備計画により、計画的に更新する。 ・地域特性を考慮し必要により配備車種(団ポンプ車、積載車、軽積載車)を変更する。 ・常備消防車両整備計画により計画的に更新する。
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・団の消防ポンプ自動車3台(高山支団中山班、丹生川支団荒城班、荘川支団黒谷班)を更新 ・高規格救急車1台を更新(高山消防署)						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	消防団車両更新	台	目標値	2	3	3	2
				実績値	2	3		
				算出根拠等	実績			
	活動指標	高規格救急自動車	台	目標値	0	1	0	1
				実績値	0	1		
				算出根拠等	実績			
	活動指標	常備消防車両更新(水槽付消防ポンプ自動車)	台	目標値	0	0	1	0
				実績値	0	0		
				算出根拠等	実績			
	算出根拠等				目標値			
					実績値			
			達成率(%)					
算出根拠等				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・計画的に消防団車両の配置適正化を推進し、必要な台数の消防自動車を維持していかなければならない。 ・常備消防車両を更新する際には、国庫補助の活用を検討していく。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・団の消防ポンプ自動車3台(高山支団七日町班、清見支団牧ヶ洞班、荘川支団牧戸班)を更新する。 団車両の適正配置を各支団と協議する。 ・国庫補助を活用し、水槽付消防ポンプ自動車を更新する。(国府分署)	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・団車両適正化協議による車両入れ替えも反映し、整備計画による団消防車両の更新を継続する。 ・常備消防車両整備計画により、車両を更新し適正に維持管理する。 ・可能な国庫補助を活用するなど市財政負担の軽減を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・消防団車両については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 30,366	76,067	96,000	108,228
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 318	800	1,015	1,142
	受益者	高山市民・白川村民	(B) 95,607	95,102	94,616	94,759

5 予算編成(Action2)

事業内容	・消防車両整備計画及び消防団車両整備計画に基づき、消防署及び消防団車両の整備を行い消防力の強化を図る。 ・はしご車のオーバーホール ・常備消防の資機材搬送車及び高規格救急自動車の更新 ・高山市消防団高山支団山王班及び上宝支団本郷班の消防ポンプ自動車の更新	要求のポイント	・はしご車は、「はしご自動車の安全基準」により平成20年度に1回目のオーバーホールを行っており、5年を経過する平成25年度において2回目を実施する。 ・消防車両整備計画に基づき車両を更新する。(資機材搬送車:緊急消防援助隊後方支援部隊の登録車両、高規格救急車:清見出張所) ・高山市消防団車両整備計画に基づき団車両を更新する。	事業実施の課題	・充実強化を進めていくが、高額化であることから、整備に合せた財源の確保(国庫補助対象外)
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		96,000	108,228	12,228	96,500	96,500	・積算内容を精査 ・車両更新計画に基づき、はしご車OHのほか消防団ポンプ車等を更新する	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	9,396		△ 9,396				
	県支出金							
	その他							
一般財源		86,604	108,228	21,624	96,500	96,500		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81310 消防	防火水槽整備事業費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。
			款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	防火水槽整備事業費	
担当課	防災課	内線 2117	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	15,000 千円	
			目	3 消防施設費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・災害発生時の消防水利を確保するため耐震性貯水槽を整備し、消防体制の充実と地域の防災力強化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内の水利不足地域を調査し整備する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・水利の不足している地域に耐震性貯水槽2基(上宝町・高根町)を整備したことにより消防体制の充実と地域防災力強化が図られた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	耐震性貯水槽の整備	基	目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足	・消防水利の無い地域へ耐震性貯水槽を整備したことにより市民の安全が確保された成果は大きい。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・老朽化した防火水槽の耐震性貯水槽への更新を検討する必要がある。
-----------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・市内全域に設置されている防火水槽の設置状況、破損状況等を調査し更新計画を策定する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・防火水槽更新計画を策定し老朽化した防火水槽を耐震性防火水槽へ更新する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・コスト削減を図りながら計画的に整備をすすめる必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 9,515	16,754	15,000	22,799
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 101	180	162	245
	受益者	高山市民 (B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・耐震性貯水槽整備計画に基づき耐震性貯水槽を整備し、防災体制の充実及び消防力の強化を図る。 ・耐震性貯水槽整備 ・可搬ポンプ整備	要求のポイント	・耐震性貯水槽及び可搬ポンプ整備、既存水槽の撤去 ・防火水槽の有蓋化工事	事業実施の課題	整備基準の策定
------	--	---------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,000	22,799	7,799	20,800	20,800	・積算内容を精査 ・整備計画に基づき、耐震性貯水槽を2箇所整備	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	5,236	5,236		5,236	5,236		
県支出金 その他				4,000	4,000		
一般財源	9,764	17,563	7,799	11,564	11,564		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81315 消防水利施設整備事業	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。
		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	消防施設維持修繕・改修事業	
担当課	防災課	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	17,000 千円	
	内線 2117	目	3 消防施設費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	消防水利(防火水槽・消火栓)の適正な維持管理を行うことにより、火災時における効果的な消火活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	事業の実施手法(手段)	修繕等の措置が必要な消防水利(防火水槽・消火栓)を順次改修する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	防火水槽の漏水・水槽本体の破損に対する修繕を実施。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	消防水利施設修繕	箇所	目標値	16	9	5	6
				実績値	21	8		
				達成率(%)	131	89		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	各施設の老朽化が進んでおり、職員での対応も限界にきていることから、今後修繕費の増加が予想される。計画的な更新が必要となっている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	消防水利の維持管理は、設置基準に基づき緊急度を適切に判断し、効率的且つ効果的に実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	各関係課と協議し、計画的な施設更新を視野に入れた事業を実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	コスト削減を図りながら、適正に維持管理を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 19,131	11,199	10,890	31,586
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 204	120	117	340
	受益者	(B) 高山市民	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題
・防火水槽修繕等、消防水利の適正な維持管理 ・消火栓維持管理負担金	・老朽化した防火水槽などの水利施設を安全に使用するために修繕等を実施し、適正に維持管理する。 ・消火栓等の適正な維持管理のための負担金	・各施設の老朽化が進んでおり、水利施設修繕費が増加している。 ・採水管、通気管、転落防止金具等の防火水槽修繕の計画的な実施 ・排水不良消火栓改修の計画的な実施 ・消火栓過充足地域の適正配置の検討

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,890	31,586	20,696	10,390	10,390	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金 その他 一般財源	10,890	31,586	20,696	10,390	10,390		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81320	消防資器材整備事業	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市消防計画	市長公約	6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。
	款			8 消防費	分野		9 安全	実施計画事業		消防・救急資器材整備事業		
担当課	警防課・救急課・消防総務課		内線	2117	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H25実施計画額	38,900 千円		
				目	3 消防施設費		施策	1 消防体制の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・消防、救急資器材の新規導入、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。	概要	事業の実手法(手段)	・毒劇物運搬車両事故による毒劇物漏洩事故に対応した整備を整備し、特殊災害対応力の強化を図る。 ・上下式防火衣への更新により、隊員安全管理の徹底、二次災害の防止、効果的な消防活動の展開を図る。 ・現状空気ボンベ容器について、高圧化対応したものを整備し、空気呼吸器装着時における活動時間の延長を図る。 ・消防用ホースの更新により、消火損害の軽減と効率的な消火活動を展開を図る。 ・機能低下した自動式吸引器を更新する。
	対象者数	94,616 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・上下式防火衣更新、空気ボンベ容器の高圧化(15Mpaから30Mpa)による空気ボンベ更新。 ・消防用ホース購入、二相性半自動除細動器1器を更新、自動式吸引器更新。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	上下式防火衣への更新	着	目標値	17	13	18	17
		実績値	17	13				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	活動指標	ホース更新本数	本	目標値	116	115	114	126
		実績値	116	115				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	活動指標	自動式吸引器の更新	器	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100			
	成果指標	平均鎮圧時間(放水開始から鎮圧まで)	分	目標値				
		実績値	46	28				
算出根拠等		火災出動した内放水活動があったものから算出	達成率(%)					
成果指標	平均損害額(1事案あたり)	千円	目標値					
	実績値	2,015	1,560					
	算出根拠等	火災件数、火災損害額から算出	達成率(%)					
成果指標	吸引器使用件数	件	目標値					
	実績値	93	103					
	算出根拠等	消防OAシステムでの数値	達成率(%)					
補足	・空気ボンベの高圧化により、これまでのボンベと比べ毎分40ℓの呼吸量の場合、15分の延長が可能となる。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・整備資器材を活用した訓練等を実施し、損害額の減額や救命率向上に繋げるなど、消防活動内容の充実に努めなければならない。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・計画的な整備により、毒劇物漏洩事故対応のためのレベルB化学防護服を購入し、高圧ボンベ、消防用ホース、上下式防火衣、自動式吸引器等を更新する。 ・消防団組織の活動強化のためのトランシーバーを整備したほか、団に必要な資器材を計画的に整備する。										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、総合的な消防力の向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○ 維持・改善	・消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、総合的な消防力の向上を図る。	拡大	縮小	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	廃止検討	
	○ 維持・改善	・消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、総合的な消防力の向上を図る。									
拡大											
縮小											
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 11,429	7,690	8,500	17,175
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 120	81	90	182
受益者	高山市民及び白川村民	(B) 95,607	95,102	94,616	94,616

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 上下式防火衣、高圧空気ボンベ、消防用ホースの更新 救急活動に必要な自動式吸引器、普通救命講習等に使用する応急手当人形の更新 消防団活動のための資器材整備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防隊員安全確保のための上下式防火衣への更新 活動時間延長を図るため、空気ボンベ容器を高圧式に更新 経年劣化により機能低下した自動式吸引器の更新及び老朽化した応急手当人形の更新 高山市消防団消防音楽隊の楽器の整備 山林火災対応に必要な可搬ポンプを設置 	事業実施の課題	・消防活動に必要な資器材を計画的に整備していく中で、劣化が予想以上に進んだことによる不具合の発生や事業内容の変化等による数量増大や機種変更などがある場合に適正に対応していくために、計画の部分修正や見直しをしながら順次整備していく必要がある。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,400	17,175	10,775	10,100	10,100	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	41	41		41	41		
一般財源		6,359	17,134	10,775	10,059	10,059		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81325 消防	消火栓整備事業負担金	会計	1 一般	政策	3 「すみよさ」のある町づくりをめざして	根拠計画	水道法による	市長公約 6 市民の生活と生命。財産を守ります。
			款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	消防施設維持修繕・改修事業	
担当課		防災課	項	1 消防費	基本施策	1 日常における安全を確保する	H25実施計画額	17,000 千円	
		内線 2117	目	3 消防施設費	施策	1 消防体制の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・消火栓の整備を行い、火災時に有効且つ効果的な活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	事業の実施手法(手段)	・消火栓不足地域や過充足地域の適正配置を行う。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・上野・新張地区に消火栓設置5基							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	消火栓整備	基	目標値	3	5	2	2
				実績値	3	5		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓整備計画に基づき無水利地区の消火栓配置の継続。 ・過充足地域の適正配置の検討。 ・排水不良消火栓の改修が必要。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓整備計画に基づき無水利地区も消火栓配置の継続。 ・消火栓過充足地域の適正配置の検討 ・排水不良消火栓の改修を計画的に進める。 	
次年度の実施方針	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓整備計画に基づいた消火栓配置を実施する。 ・排水不良消火栓の改修を計画的に進める。 ・消火栓過充足地域の適正配置を検討する。
	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓過充足地域の適正配置を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	2,800	2,000	800	1,432
	受益者1件当たり(円) (A/B)	30	21	9	15
	受益者 高山市民 (B)	93,822	93,312	92,861	92,987

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業管理者が行う消火栓の設置に係る工事負担金 ・上野上水事業に併せた消防水利不足地域への消火栓新規設置 	要求のポイント	・上野地域上水道事業計画に基づく消火栓の新規設置費用(平成25年度完了予定)	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓整備計画に基づき無水利地区の消火栓配置の継続 ・過充足地域の適正配置の検討 ・排水不良消火栓の改修が必要
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	1,432	632	800	800	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
一般財源		800	1,432	632	800	800		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	81335	自主防災組織育成事業	予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	初期消火資器材貸与方針	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。		
				款	8 消防費		分野	8 防災						
担当課				内線	2117		項	1 消防費	基本施策	2 災害時における市民の暮らしを守る			実施計画事業	自主防災組織育成事業
				目	3 消防施設費		施策	1 防災意識の高揚	H25実施計画額	700 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	組織の育成・強化を推進し、組織ごとの防災力強化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	初期消火資器材の更新及び修繕 自主防災組織の訓練指導
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	初期消火資器材維持管理方針変更の協議。 自主防災組織への訓練指導及び啓発							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	ホース更新数	本	目標値	0	0	80	80
				実績値	0	0		
				算出根拠等	達成率(%)			
	活動指標	地域活動協力員による指導回数	回	目標値	150	186	200	256
				実績値	177	199		
				算出根拠等	達成率(%)	118	107	
	成果指標	訓練実施組織数	回	目標値	292	292	292	292
				実績値	190	173		
				算出根拠等	達成率(%)	65	59	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・初期消火資器材維持管理方針の早期見直しが必要である。
-----------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・初期消火資器材の維持管理方針を決定し、自主防災組織への説明会の実施。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・各地区での老朽化した資器材の更新を図る。 ・自主防災組織による資器材の維持管理及び訓練を促す。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・初期消火資器材にかかる方針に基づき、適正に更新等をすすめる必要がある。 ・自主防災組織における初動体制や初期消火訓練を促進する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 548	518	2,700	4,627
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 6	6	29	50
	受益者	(B) 高山市民	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・自主防災組織の訓練指導や訓練実施促進などの育成事業 ・自主防災組織へ貸与している初期消火資器材の更新及び修理等	要求のポイント	・初期消火資器材貸与方針に基づく資器材の更新 ・訓練の充実による訓練指導者への謝礼	事業実施の課題	・訓練や資器材更新等に積極的に取り組んでいただけるよう全ての組織の防災意識向上を図っていく。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,700	4,627	1,927	2,750	2,750	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他							
一般財源	2,700	4,627	1,927	2,750	2,750		